

〈解答〉

- ① 1 Aカナダ Bメキシコ Cキューバ
 2 aワシントン(D.C.) bニューヨーク
 3 Xグレートプレーンズ Yアパラチア(山脈) Zカリブ(海) ミシシッピ川
 4 イヌイット, ヒスパニック
 5 英語とフランス語
 6 ①オ ②イ ③エ ④ア ⑤ウ
 7 シリコンバレー, サンベルト
- ② 1 Aブラジル, ブラジリア Bアルゼンチン, ブエノスアイレス Cチリ
 Dボリビア Eペルー Fエクアドル Gコロンビア
 Hベネズエラ Iパナマ
 2 ポルトガル語, スペイン語
 3 アマゾン川
 4 ラプラタ川, パンパ
 5 D
 6 コーヒー(豆)
 7 エ

配点 各1点 38点満点

〈解説〉

- ① 1 A国土面積は世界第二位。首都はオタワ。Bとうもろこしが主食で、その粉でつくった丸い薄焼きのトルティーヤに肉や野菜などを包んで食べることが多い。首都はメキシコシティ。Cカリブ海に浮かぶ島国。さとうきびの栽培が盛ん。首都はハバナ。
- 2 a初代大統領の名前にちなむ。北西端のワシントン州と区別するために、D.C.と書き加えることが多い。b国際連合の本部、ウォール街があり、世界の政治・経済・文化の中心地。
- 3 Xロッキー山脈の東側、カナダ南部からテキサス州付近にかけて長くのびる、比較的降水量の少ない広大な平原。Yけわしいロッキー山脈に対し、なだらかな山脈で、石炭の産出が多い。Z大小さまざまな島国が点在する。ミシシッピ川はおよそ北から南に流れ、メキシコ湾に注いでいる。
- 4 エスキモーとも呼ばれ、カリブー(野生のとなかい)やあざらしの狩りで生計を立ててきた。現在では、資源開発や商業、観光業の仕事をする人々が増えている。「スペイン語を話す人々」という意味で、農場、建築工事現場、レストランなどで働く人も多い。
- 5 かつてイギリスの植民地あったが、フランスによって開拓が進められたケベック州では、フランス語を話す人々の割合が高い。

6 アメリカ合衆国は「世界の食料庫」と呼ばれ、世界各地に食料を輸出している。気温、降水量、土地などの自然条件に適した農産物を生産する、適地適作を行なっている。①冷帯気候で、氷河に侵食されたやせた土地が広がっている。②豚や肉牛の飼育と組み合わせた混合農業が中心。近年はだいたいの栽培も増えている。③かつて黒人奴隷を利用したプランテーション農業として発達。現在は農業の多角化が進んでいる。④大型機械を使って、少ない人手で高い生産をあげる、企業的な農業が行なわれている。⑤降水量の少ない地域で、フィードロットと呼ばれる企業的な肉牛の飼育も見られる

7 シリコンバレーには先端技術を研究する大学や研究機関、IC（集積回路）の工場やIT産業の企業が集まり、ソフトウェアの開発などで世界をリードしている。サンベルトでは、土地が安く手に入り、労働力も豊富で賃金が比較的安いことなどから発達した。

- ② 1 A北部はアマゾン盆地、南部はブラジル高原が広がっている。人口はリオデジャネイロなど南部の海岸沿いの都市に集中し、多くの日系人も暮らしている。Bヨーロッパ系の民族が住民の大部分を占めている。C南北に細長く、南部と北部とで気候の差が大きい。銅の産出、輸出が多い。首都はサンティアゴ。Dアンデス山中の高原内陸国。首都はラパス。Eインカ帝国の遺跡マチュピチュがある。首都はリマ。F国名は「赤道」という意味を持つ。首都はキト。G国名はコロンブスにちなむ。首都はボゴタ。H原油の産出、輸出が多い。首都はカラカス。I太平洋とカリブ海をつなぐパナマ運河がある。
- 2 アンデス地方のインカに代表されるように、かつて先住民がつくった高度な文明が栄えていた。しかし、16世紀になると、スペイン人がおもにアンデス地方に進出し、先住民の文明を滅ぼして植民地をつくった。一方ポルトガル人は、大陸の東部を植民地として、広大な土地を開拓した。それらの影響で、メキシコから南の国々はラテンアメリカとも呼ばれ、カトリックの信者が多い。
- 3 赤道の近くを西から東に流れており、その流域には、数多くの動植物が生息する熱帯林が広がっている。
- 4 北から南に流れ、下流域のパンパと呼ばれる草原では、小麦やとうもろこしの栽培、牛の放牧が盛んである。
- 5 人口のおよそ55%が先住民（インディオ）である。次いでペルーも4～5割が先住民が多い。アルゼンチンやチリはほとんどがヨーロッパ系で、コロンビアやベネズエラは混血（メスティーソ）の割合が高い。
- 6 おもにブラジル高原南部で栽培され、かつては輸出品の中心であったが、現在は輸出額に占める割合が減っている。
- 7 熱帯雨林が広がる低地では天然ゴムなどの栽培が多い。標高が2000～3000mくらいのところではとうもろこしを、それよりも高く、より寒いところではじゃがいもをつくり、農作物の育たない4000m以上のところでは、リャマやアルパカなどを放牧している。リャマは運搬以外に、肉を食べたり毛をとったりするために飼育されている。アルパカはリャマより小型で、毛をとるために飼育されている。